



### テーマ：お母さんのスキルアップ

6月19日 第2回定例会 スマイル麻機にて『ゆかた着付け教室』を行いました。



講師の方は、広川早苗先生をお迎えし、今の時代に合ったゆかたの着付けを教えてくださいました。

先生は「反物から着物を作り、ほどくとまた元通りになる…日本文化はエコでありルールをわきまえた上で着物文化を楽しんでほしい。」とお話しされていました。

※手順については、裏面をご覧ください。

#### 〈感想〉

- 先生のお話が楽しく、とてもわかりやすく自分の持っているもので出来ること、わざわざ高い物を買わなくてもいいんだと言ってもらいホッとしました。(竜爪中)
- ずっと着付けを習いたいなあと思っていましたが機会がなく、今回楽しい時間を過ごすことが出来、お着物っていいなあと心から思いました。(北沼上小)
- 子供から離れて自分の時間を使える事もないので、とてもいいリフレッシュになりました。(東千代田小)
- 着物をもっと身近に感じて着てほしい、と言う先生の考え方が素敵だと思いました。お金をかけなくてもユニクロや100均の小物で充分というのにも驚きました。(観山中)
- 着付けを難しく捉えていましたが驚くほど簡単で作業の説明もあり これなら一人で着られると確信しました。(麻機小)
- 紐一つの結び方で着崩れないなど教わる事ができて良かったです。せっかくなので今年はまず子供に着せることから挑戦してみようかと思えます。(西奈小)
- とても新鮮な感じでした。まだまだ頻繁に着ることは難しいけれど素晴らしい日本の文化として、もっと日常的に見られるようになったらいいなあと思えます。(西奈南小)

※白黒で見にくいと思いますがご了承ください。

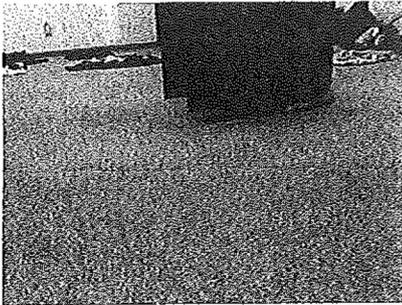
① 肌じゅばん・裾除け等の下着は、ゆかたの時にはつけなくても大丈夫です。今回は肌じゅばん等をつけて行いました。



② きれいなお着物持ち寄りしました。



③ 襟の端を持って後ろを上げます。ゆかたの位置をだんだん下げてゆかたの丈をあわせます。



④ 裾はくるぶしが出ない程度



⑤ 胸元は右手が入る様に左前にしてウエストでなく腰の位置で腰ひもをします。



⑥ 襟はつまっていると若く開いていると色っぽくみえます。



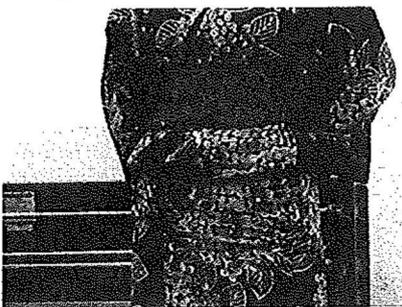
⑦ 後ろを引っ張りおはしよりを整える



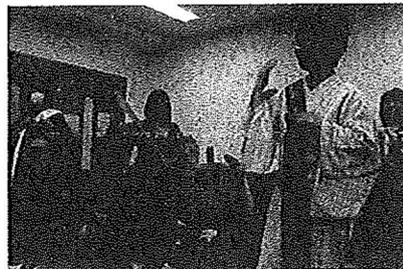
⑧ ひもを縛る時後ろで一回ギュッときつくしぼる。



⑨ みやつ口から手を入れ整え胸ひもをします。



⑩ 紐の代わりにこんな小物も OK



⑪ 帯の見せたい方を表に半分に折り肩にのせます。



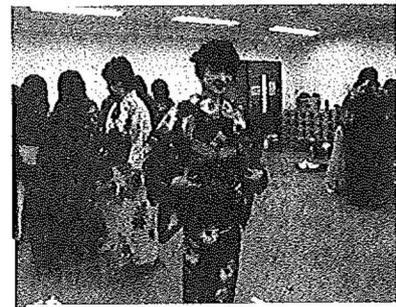
⑫ 肩にのせていない方の帯は広げて体のまわりを2周させます。



⑬ 肩にのせた部分を下ろし帯を一回結びます。



⑭ 長い方の帯を好みの巾で折りたたみ、真ん中をつまんで山ひだを作り上から半分に折ってある帯で巻き付け胴の中にしまいます。



⑮ 前で出来上がり。くるっと後ろへ回して完成。